

懐かしの幻灯上映会

炭鉱労働と石炭産業の変遷

近代日本の産業を支えた「石炭」。1950 年代の炭鉱をめぐる幻灯作品を通して、炭鉱で働く人びとの姿、労働運動の高まり、そして石炭産業の合理化によって生まれた失業や貧困の問題をたどります。当時の幻灯機と語りによる、貴重な上映会です。

※上映作品の一部には、現在の基準では不適切とみなされる可能性のある表現や、一部ショッキングな画像も含まれていますが、貴重な歴史的資料としての価値を尊重し、製作当時のオリジナルのフィルム・台本により上映します。

上映予定作品（都合により上映作品が予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください）

『三井炭鉱首切り反対斗争の記録 地底の怒り』（製作：全国三井炭鉱労働組合連合会、1953 年）

『せんぷりせんじが笑った！』（製作：日本炭鉱労働組合、1956 年）

『失業と合理化問題—ボタ山の火を消すな』（製作：日本炭鉱労働組合、1959 年）



作品写真

左：三井炭鉱首切り反対斗争の記録 地底の怒り
右：失業と合理化問題—ボタ山の火を消すな



上映フィルム提供
神戸映画資料館



8 / 16

日曜日

13:30~15:30

活動写真弁士 片岡一郎（かたおか いちろう）

2002 年に澤登翠に入門。

国内外合わせて 23 개국で公演。

これまで弁士として手掛けた無声映画は約 400 作品。

行定勲監督『春の雪』や根岸吉太郎監督『ゆきてかへらぬ』、甫木元空

監督『BAUS 映画から船出した映画館』、大河ドラマ『いだてん』、

朝ドラ『ブギウギ』に弁士役で出演。

周防正行監督『カッペン！』では出演の他、出演俳優への実技指導や時代考証も担当。無声映画のフィルム発掘にも携わっており、1910 年代製作の『忠臣蔵』、高峰秀子出演作『私のパパさんママが好き』、ハリウッドコメディ『Our Pet』などを発見した。2020 年に初の単著『活動写真弁士映画に魂を吹き込む人びと』を上梓。

会場：みらい館大明（豊島区池袋 3-30-8）スタジオ

主催：NPO 法人いけぶくろ大明（みらい館大明）

後援：豊島区

解説：鷺谷 花（財団法人大阪国際児童文学振興財団）

定員：30 名（事前申込・先着順）※小学生以上 対象

料金：無料

申込：TEL 03-3986-7186

E-mail miraikan_taimei@yahoo.co.jp



みらい館大明
元大明小学校

ご来館にあたり上履きをご持参ください。

ISPS 科研費 基盤研究 (A) 24H00086

「冷戦期東ユーラシア文化外交と英米文学のジョボリティックス」
研究代表者：吉原ゆかり